

令和3年度黒部市議会報告会報告書

1 開催概要

- (1) 日時 令和3年11月17日(水) 午後7時～午後8時
- (2) 場所 黒部市庁舎 201～203 会議室
- (3) 出席人数 46名

2 報告等内容

※報告等の詳細は別添のPDF参照

- (1) 開会あいさつ 木島 信秋 議長

(2) 第1部 (議会報告)

黒部市議会における新型コロナウイルス感染症対策の取組みについて

報告者 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

高野 早苗 委員長

(質疑応答) 別添

黒部市議会議員定数について

報告者 議会改革特別委員会

小柳 勇人 委員長

(質疑応答) 別添

(3) 第2部 (意見交換)

テーマ：議員定数について

(意見交換) 別添

- (4) 閉会あいさつ 中村 裕一 副議長

3 質疑応答要約（第1部）

新型コロナ対策関係

- ①（生地）黒部市の支援策5番まで聞きましたが、これは国、県の助成金を基にしてやられていると思う。市単独での政策というものは何かあったか。（高野委員長）飲食業等支援の(5)－2は市独自の施策であります。
- ②（生地）もっと違う形でいうと、振興会に行政から予算が付いたものや事業等いろんなものがあつたが、コロナ禍の中、もっと人の安全・安心というところで議会として何かおっしゃったことはあるか。（高野委員長）いち早くスムーズに子どもたちがなるように衛生品も早くに出しましたし、新生児への給付、これも市長がいち早く9月議会でしましようということで、一律5万円、子育てのところも力を入れたところです。

議員定数関係

（質疑なし）

4 意見交換要約（第2部）

- ①（田家）3項目について意見を言う。①定数については、地区の評議会・町内会長を集めて意見を聞いた。資料なしに聞かれたのでなかなか答えにくかったと思うが大勢としては1～2名減でもよいという考え方であった。②議会の取組については、こういう書類が出てくるのは半年遅い、もっと早く出してほしかった。本日の三つの定数案はメリット・デメリットよくまとめてあるが、これが無い段階では市民の皆さんの意見は出ないのではないか。③議会の委員会構成の議論については、一般市民には分かりにくい。議員の皆さんは詳細な意見を出されているが一般市民は答えにくい。またパブリックコメントも22日までというのは時間が足りないと感じる。
- ②（石田A）何故今更議員定数の話が出てくるのか。前回の選挙が無投票だからこういう話が出てくるのかと思ったりする。市民の声を市政に反映させるそういう役割があるとすれば、議員の定数は多ければ多いほどいいはず。個人的な意見では18名以上、議員一人ひとりがもっと多くの市民の声を常に反映させて欲しい。加えて議員の皆さんは大変忙しいと思うが、議員としてすべきことは何なのかを考え、活動を一人ひとり示していただきたい。自信を持ってやっていただければ定数を減らすことはないと思う。

（小柳議会改革委員長）ご意見ありがとうございます。今お二人の言われた

ことは、実は自由討議の中で何人かの議員が発言しています。自由討議の内容は今ここでは申し上げられませんが、報告書には議論の経過も記載してあります。この場は議会報告会であり、細かいことを討論するのは難しいと思いますが、今述べられた意見も含め委員会の中で議論していきたい。

- ③ (三日市) 概要版の中に現在1名減の17名で支障が無いと書いてあるが、支障が無いのであれば1名削減すればいいと単純に思うが、現在17名で運営されている状況に支障あるのかなのか、そのあたりを教えて欲しい。

(木島議長) 現在、三つの常任委員会があり、6-6-6ではなく、6-6-5、生活環境委員会が5人の構成となっています。6人のところが1人少なく5人で支障が無いのかといわれると無いわけではないですが、努力していただいているということです。また先にもあった議員全員で構成する新型コロナウイルス感染症対策特別委員会もあり、生活環境委員会とのすみ分けもあり、今のところは問題もなく上手くやってきたというところ です。

- ④ (石田A) パブリックコメントは、22日締め切りでしたが、現在何通着ているか。また市報や自治振興会へのお知らせ以外どのように知らせているのか。

(小柳委員長) 内容の周知は議会だよりのほか市議会HPで案内させていただいた。期間が短いあるいは周知が足りないということも貴重な意見として受け止めたい。しかし12月議会までに結論を出すスケジュールの中、22日までのパブコメ期間とした。また本日まで4通いただいている。

- ⑤ (下立) 前回は無投票だった。私達の選ぶ権利・投票の権利を議員の皆さんはどう考えているのか。議会に魅力がないので立候補する人が少ないのだと思うのでもっと魅力ある議会運営をして欲しい。私達には選ぶ権利・投票する権利もあると思うので定数を削減したらよい。

(小柳委員長) 議会改革委員会の中で出た意見を少し申し上げると、女性議員や若い議員が誕生した方が良く、そのために年金制度の新設や議員報酬の見直しなど議員の中からもありました。しかし、自らその議論をするのは困難との結論に達しました。今ほどの議員を選ぶ権利、前回無投票だったことについての発言も多くありましたが、我々の力で無投票を回避できるのかという意見もありました。また18名でも15名でも無投票の場合もあり得ると

の意見もあったところです。

- ⑥ **(前沢)** 今のパブリックコメントに関しては、周知に非常に短い時間しかなかった。これで市民の皆さんは十分に理解されたかというのは考えづらいがそのへんをどう思っておられるか。また議員は市民の意見を吸い上げるのが仕事と思っているが、議員数減、定数減になった場合同じように意見の吸い上げができるのか議会で議論されたかどうかお聞きしたい。

(小柳委員長) 周知期間が短いということについては改めて申し訳ないと感じています。昨年 12 月に議員定数を取り上げることを決定し、来年 10 月の改選期や 4 月の補欠選挙も考慮し、本年 12 月議会までに最終決定すると合意され 12 月を目途にご指摘の通り足早ではありますがパブコメを実施したというのが経過の説明です。また定数減になった場合どのように市民意見聞くか議論したかについては、議論があったことと無かったこと両方あります。議会全体として意見集約してはいませんが、それこそ 17 名の議員それぞれ各自考えておられると思います。

- ⑦ **(石田 B)** まず、平成 30 年の選挙が仮に 19 名出られて選挙戦になったら、こういうところまで話がいったかなと思います。次に議員定数、議員は地域の代表だと思っていますし、議員の任務というのは地域の意見を行政に話をして合わせて市政の監視監督、予算の適正執行などと思います。幸い石田からは 2 名の議員がおられるが、出ていない地域から是非地元の代表として立候補できるような雰囲気作りがないのかと思う。議員の定数を削減すると美德のように言われているが、削減すると出にくい地域の意見は反映されず、投票率も下がる。議会には自分の地域から議員を出してもらおうよう背中を押す取組をしてほしい。

- ⑧ **(田家)** 今の意見はもっともだとも思うが、議員・議会に注文だけしている市民の責任も重大だと思う。市民として皆さんの意見が聴取できないというのが、町内会、振興会を通じて意見を出してもらえば議会に十分通じると思う。受け身だけじゃないでしょうか。市民としても反省が必要。議員定数は別として、昔は地区が離れた議員でも山を越え通って聴取する議員もたくさんいた。SNS の発達している中、出そうと思えばいくらでもコメントは出せる。議会任せではなく、市民の我々が主体だと意識しないとなかなか議会改革は進まないと感じる。

- ⑨ **（荻生）** 皆さんと少し意見は違うが、例えば昔は荻生に議員が3人おられ、おらが村、おらが村といっておられた。だがこれからのあるべき姿は、おらが村ではなく黒部市を良くする、そういう形に変えていかないとまずいのではないかと個人的に思う。先般新田知事が述べられた、県が発展しないと国が発展しない、下からの押し上げがなければと。黒部市を良くするのにその下に各地区があるが、そこまで落としこんでいいのか。私は黒部市は公共施設が散居村化していると感じる。都市計画の目線からいうと少し違うと思う。例えばまずインフラをやらず何故あの狭いところに郵便局を建てたのか、オラのところに持ってきて欲しいからと議員の活動の場になってしまったのかと。議員の数は多ければいいものじゃないし、少なかったら組織が成り立たない。黒部市のために議員にはもっと頑張ってもらいたい。
- ⑩ **（大布施）** 議員の皆様方大変さややりがい、仕事や活動の詳しい中身を知っているわけではないので議員定数は、現状維持か削減かを判断することは正直困難です。ただ中間報告と概要版の二つを読んで感じたことは成り手不足、無関心な問題があり、議員の数を減らしたから成り手が増える・関心が増すというものではなく、この町に暮らす一人としてこの町の過去・現在・未来に関心を持ち、自分の言葉で発信できる人、発言・行動に責任持てる人、そういう人が増えることが重要と感じた。前回の選挙が無投票だから今回も無投票とは限りませんし、次の選挙の内容を見てから判断することとしてもいいのかなと思います。

5 議会報告会を終えて

本議会報告会では第1部では、①黒部市議会における新型コロナウイルス感染症対策の取組みについて、②黒部市議会議員定数についての2点に絞って報告説明をし、質疑応答を頂いた。

第2部では議員定数についてのテーマで意見交換をした。現状維持、削減など多くの意見を頂いた。皆様から頂いたご意見は貴重な議会報告会のご意見として承り、12月議会において判断させていただく。

また今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、46名の出席であった。次回開催時には、より多くの皆様に参加していただき、有意義な報告会となるよう、よりよい告知方法や報告会の内容について引き続き検討したい。